

関東アコーディオン演奏交流会 No.7

実行委員会ニュース

2015.1.9 発行

編集 広報部

ホームページ <http://www.kanto-acco.jp>

迎春「25周年記念コンサート」のお知らせ！

開催日時 2015年2月22日(日)14:00～

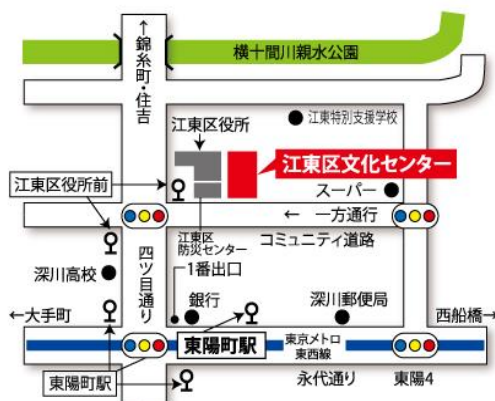
会場 江東区文化センター・ホール

交通 東京メトロ東西線「東陽町」駅下車、1番出口より徒歩5分

演奏予定者

前回(20周年記念コンサート)と同様、直近の独奏の年の一昨年(第25回演奏交流会)で入賞された方、合奏の年だった昨年の入賞団体に再度演奏を聴かせてくださるよう願っています。

ゲストは**檜山学氏に決定！**



(写真右)

2013年9月「第25回関東アコーディオン演奏交流会」審査委員として参加の檜山氏(審査中の様子)

目次

- チケット、普及のお願い、広告のお願い…2P
- 関東アコのあゆみ…4P
- 聴き歩き「ニュー・アンサンブル・アコルデ」…6P
- ホワイトボード…8P

- 大合奏「ジュピター」の練習…3P
- 聴き歩き「フーガの会」…5P
- 聴き歩き「ぬくもりコンサート」…7P

実行委員会からお願い

チケットの普及にご協力を！

関東アコーディオン演奏交流会は、多くの方の助けを借りてお陰様で四半世紀続けることができました。そのあゆみを記念して企画したコンサートです、是非多くの方を迎えて交流し合いたいと考えております。

ゲストは、国内外で大活躍の素晴らしいアコーディオニストの檜山学氏です。ゲスト演奏も楽しみの一つです。みなさまも是非お友達を誘って聴きにきて下さい。

★チケットは 1,800 円です。

よろしく



★問合せ先(池田Tel&Fax) 047-320-6015 E-mailMail:ken4425@ka2.so-net.ne.jp

	関東アコーディオン演奏交流会 25周年記念コンサート	関東アコーディオン演奏交流会 25周年記念コンサート
	2015 2/22 13:30 開場 14:00 開演	2015年2月22日(日)
	江東区文化センター 1,800yen (東京メトロ東西線「東陽町」駅1番出口より徒歩5分)	チケット代 済・当日
	ゲスト演奏 檜山 学(アコーディオニスト) Manabu Hiyama 主催: 関東アコーディオン演奏交流会 後援: NPO 法人日本アコーディオン協会(JAA)	見 本

25周年記念コンサートプログラムへの広告掲載のお願い

皆様には、昨年9月14日開催の「第26回関東アコーディオン演奏交流会」に続くお願いとなりますが、四半世紀にわたりアコーディオン仲間の成長と共に発展してきたことを祝う記念コンサートへのご理解を賜り、再度のご支援をお願いしたく思います。

よろしく



広告の種類は、教室やサークルの募集など、通称名刺広告(3000円)～用意しております。サイズと金額は下記の通りです。※詳細は別紙「広告掲載のお願い」をご覧ください。

(3千円)

名刺広告

7.5cm×3cm

5 千円

7.5cm×5cm

1 万円

15cm×5cm

2 万円

15cm×10cm

(アコ合奏) 組曲「惑星」よりジュピター練習の様子

実行委員会では、関東アコーディオン演奏交流会25周年記念コンサート(2015年2月22日開催)に向けて、実行委員有志に呼びかけに参加した方を加えて、組曲「惑星」よりジュピターのアコ合奏に取り組んでいます。12月21日エデュカス東京で行われた練習の様子を紹介します。

今年も残りが10日となる21日は、指揮者を入れて9名の参加と都合の付かなかった方が多く、全7パートのところ来られなかったパートもある中での練習になりましたが、その分ちょっと丁寧に蛇腹を使った音づくりなどを繰り返し練習することが出来ました。

例を挙げると



左の譜は5パートの33～36小節です。35～36小節の「ソ・シ・ファ・ソ・ド#」ここは、「ラッ・タッ・ティット・ティ」の

ように拍を感じさせる音が欲しい。他のパートでも同じ旋律が幾つも出てきます。他のパートでも同様に拍を感じること。そのためには1音1音に蛇腹を丁寧に使うと良いなどです。この曲の場合曲全体に1音1音丁寧な蛇腹の使い方が要求されている。

109小節(アドリブ)は、2013年5月19日に開催された「第4回東北アコーディオンジャンボリー」で大合奏としてジュピターを演奏した際に尺八で参加された佐藤正助氏が、今回も福島県から参加され、尺八で演奏します。(写真は第4回東北アコジャンレッスン会でのスナップ)

そして、尺八が終わると、有名なフレーズが始まります。



◀写真は6パートの譜面ですが、4、5パートも同じです。メロディーがきれいだからどうしても流されてしまいがちになるけれど、ここも1音1音を意識して欲しい。ここは次回練習で挑戦します。

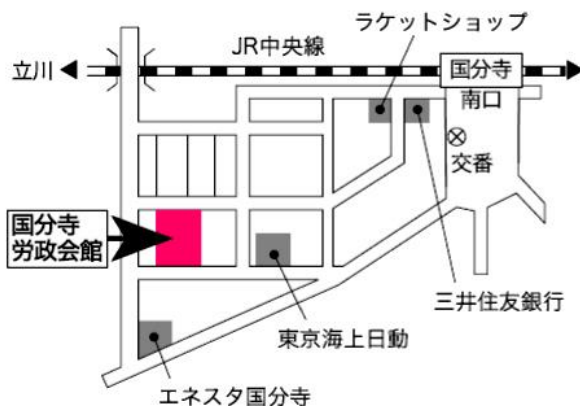


《次回練習会場のお知らせ》

日 時 2015年1月11日(日) 13:00～
会 場 国分寺労政会館
交 通 JR中央線「国分寺」駅
南口より徒歩5分



練習後の集合写真(他カメラマン1人)



関東アコーディオン演奏交流会「25周年記念コンサート」開催！！

一昨年は台風に見舞われましたが、昨年9月の第26回関東アコーディオン演奏交流会は無事に終わり、ただ今実行委員一同25周年記念コンサートの成功に向けて努力しているところです。

《25年のあゆみ》

アコーディオン仲間が集うきっかけになったのは、1983年、約10団体で準備した「器楽フェスティバル」でした。少しずつ参加地域が広がり、85年に「関東アコーディオンフェスティバル」と名称を変え9月16日(月)東京都勤労福祉会館ホールに於いて出場者選抜オーディションが行われました。

そして1987年11月23日(月・祝)埼玉県蕨市民会館ホールに全国の仲間を迎えて「第1回アコーディオンフェスティバル」が開催されました。当時は選抜オーディションがあり、この年の9月6日浦和市コミュニティセンターで行われたオーディションの参加者は、独奏26名(ジュニア4名・経験3年以内5名、一般17名)、アンサンブル(12組53名)が出場し、遠く仙台から6名が参加したと記録に残っています。また、「8名の審査員から1人1人講評を受けて非常に勉強になりました」などの感想もありますが、第1回フェスティバルへの出演者を絞るのが大変だったようです。

この年のジュニアクラスの合格者の中に、現在関東アコーディオン演奏交流会の審査委員をなさっている柴崎和圭氏のお名前を発見したり、経験3年以内のクラスの合格者の中に稲葉由理子先生(筆者が所属している音楽センターアコーディオン科南部教室の講師)のお名前を発見するなど、懐かしさと同時に重ねられてきた時の流れの大きさを改めて感じさせられます。

また、当時活躍されていた先輩方は、日本のうたごえ祭典にアコーディオン大合奏で参加していました。1988年、「第2回アコーディオンフェスティバル」へと続きますが、この年は「日本の歌声40周年記念祭典」のプレ企画として開催されました。この年のうたごえ祭典は日本武道館(東京)で開催され、大合奏では「フィンランディア」(川口裕志編曲/木下そんき指揮)が演奏されました。

そして1989年9月、「第1回関東アコーディオン演奏交流会」開催へと移っていきます。当時の資料が乏しく詳細の確認は困難なのですが、1992年(第4回関東アコーディオン演奏交流会)の演奏交流会ニュースには、【のべ213名の演奏者と50名の見学者、そして9名の審査員の先生方の圧倒的なパワーで盛り上がり大成功でした】と書かれています。この年のうたごえ祭典「全国アコーディオン合同合奏」には、ピアノ、打楽器、コントラバス等を含めて150人近い方が参加しました。曲は「ペルシャの市場にて」、指揮者にはすでに他界されました清村杜夫氏のお名前が見えます。



以降毎年開催され、四半世紀のあゆみとなりました。

(文責:乙津)

次回実行委員会のお知らせ

■2015年1月11日(日) 会場:国分寺労政会館 18:00～ ★JR、西武線「国分寺」駅南口より徒歩5分(3ページ「次回ジュピター練習会場案内図」を参照(練習後に行います))

聴いてきました ♪「Accordion Ensemble 第5回 Chapel Concert」♪
2014年11月16日(日)13:00開場／13:30開演 会場:カトリック高幡教会聖堂(東京都日野市)

フーガの会の皆さんによる「クリスマス・コンサート」が多摩動物公園近くのカトリック高幡教会で行われるという事を知ったのは2008年の暮れでしたが、それ以来、この仲良しグループの演奏を何とか聴きに行きたいと願っていました。この会場の確保はスケジュール的にもなかなか難しいなどの事情も重なって今回が第5回目だそうです、初めて伺うことができました。

晩秋の多摩丘陵は、穏やかな日差しの中で紅葉が美しく、多摩動物公園へ向かう親子連れに別れを告げ、付近の散策を(実は道に迷って遠回りしたこともあって)存分以上に楽しみながら会場へ向かいました。

会場となったカトリック高幡教会は、南西に面した日当たりの良い丘の中腹にあり、樹木に囲まれながらも、一際目立つ存在。演奏は2階の聖堂でしたが、天井は客席に向かって音が反射するような斜面で構成され、そのせいか、どの曲も濁りのない美しい響きに満たされていました。

コンサートは2部構成で、第1部は、J.S.バッハの有名なコラール「主よ人の望みの喜びよ(bwv147)」、「目覚めよと呼ぶ声あり(bwv140)」に続き、3つのアヴェ・マリア(バッハ／グノー、アルカデルト、カッチーニ)、管弦楽組曲第三番より「Air」、そしてテーマ曲になっている小フーガ短調(bwv578)で構成され、バッハ好きにはたまらないアコーディオン・アンサンブルを堪能。

小休憩のあとの第2部は一転して聖歌・賛美歌の世界に誘われます。

アレルヤ(神の国と神の義を)に続き、以下曲集順でご紹介すると賛美歌、カトリック聖歌、II 賛美歌、聖歌など9曲ほど演奏され、中にはアコーディオン合奏の伴奏で皆さんと歌う曲としてカトリック聖歌(主は水辺に立った)も用

意されていました。アコーディオン合奏で歌う聖歌は、指揮もないのにしっとりと会場一杯に広がっていました。また、これらの中には歌集の番号や曲名を聞いただけでは分からないながら、実はダニー・ボーイ、アニー・ローリー、アメイジング・グレイスなど良く知られたメロディも含まれており、親しめるものでした。

キリスト教で「賛美歌」はプロテスタント、「聖歌」はカトリックと分かれているように聞くことがありますが、この日の第2部では宗教上の革新・保守仲良く融合した形で演奏披露されていたのはちょっとした驚きで、先日の沖縄知事選挙では保守革新の垣根が払われて「辺野古に基地を作らせない」と主張した翁長さんが現職に大差を付けて当選を決めたことをちょっと思い出しました。この融合はなかなか良い感じですね。

これらの演奏を聴いて、アコーディオンとキリスト教の布教活動とは密接なつながりがあったのではないかという想いにかられました。パイプオルガンを布教のために運ぶことは出来ませんし…。黒系のステージ衣装で統一された端正なアコーディオンアンサンブルを聞きながら宗教音楽との関わりや演奏スタイルの有りようについてもいろいろと想いを致す至福のひとつでした。(田代:記)

写真は、聖堂で演奏中の「Fugue の会」の皆さん。



♪「ニュー・アンサンブル・アコルデ コンサート」ぶらり訪問記♪

2014年11月29日(土)午前の部(開場:10:30/開演 11:00)会場:ルーテル市ヶ谷センター

今回のコンサートをファイナルコンサートと位置付けているとお聞きしていたので是非聴きに行きたいと思っていました。

冒頭、司会者よりメンバーの一人、秋澤加寿子さんが急逝されたので今日は4人で演奏しますと話されときは、“えっ”と一瞬耳を疑い信じられませんでした。

プログラムに、結成27年を経て今回6回目のコンサートとあるように、納得がいくまでに仕上げるのに3~4年を要していたのかもしれませんが。そのくらい音作りにこだわっていたアンサンブルの団体でした。

そのことは、秋澤加寿子さんの言葉【ロビーに置かれた遺影(病棟コンサートの写真:11月13日撮影)のよこに添えられたコメント「音楽へのこだわり」・妥協しない探求心・チェック表を使っの練習・張りのあるキラキラした音・舞台の上の思いっきりの良さ・気の強いだけの秋澤です】の中によく表れていると思います。

プログラムは第一部(ニュー・アンサンブル・アコルデによる演奏)、第二部(前半:ゲスト演奏/後半:アコルデの演奏)の構成です。ただし、委嘱作品などいくつかは5人でのアンサンブル用に作曲されているので、ゲスト演奏者の柴崎和圭氏が加わっての演奏になりました。

第1部最初の演奏曲「荒城の月」では、会場がシーンと静まり返り演奏者の表情も固く感じられました。エディット・ピアフメドレーの「回転木馬」あたりになると曲も明るくなってようやく表情にも笑みが見え始めました。

「おっぺけペーの種を蒔け」(委嘱作品・初演:野村 誠作曲)初演ですから初めて聴きますが、行進曲風の2拍子のリズムに合わせて、古謡風でもあり、民謡風でもあり、お囃子のように練り歩き、次第に遠くへ去っていったかと思ったらまた引き返して来て目の前で「エリーゼのために」が流れるなど、おどけている

ようでもあるけれど、聴衆に向かって何かを訴えていたのでしょうか「心に自由の種を蒔け」の口踊で終わります。不思議な曲でした。

第2部ゲスト演奏では、現在アコルデを指導されている柴崎和圭氏の独奏5曲。1曲目の「SAKURA」はラース・ホルム氏が柴崎和圭氏に贈った日本古謡「さくらさくら」の編曲です。

筆者の講師が良く、“糊しろ”と言われる紙と紙が少し重なるように、あえて次の音と少し重ね合わせた演奏が特徴です。

第二部の後半はアコルデの演奏で曲によっては柴崎和圭氏も加わっての演奏でした。「たいせつなことはね、目に見えないんだよ」(2000年委嘱作品:萩 京子作曲)、「オー・シャンゼリゼ」、「フランク・シナトラメドレー」最後はアンコールに込めて「ラ・クンパルシータ」そして、秋澤加寿子さんが愛用されていた楽器を柴崎和圭氏が弾くことで、ニュー・アンサンブル・アコルデの音色で会場が一つになり「故郷」をちょっとスローテンポで歌って幕が閉じました。(写真はフランク・シナトラメドレーを演奏の様子)

尚、当日は午後の部(開場:14:00/開演 14:30)もありました。(乙津:記)



追記

ニュー・アンサンブル・アコルデは、関東アコーディオン演奏交流会に第1回から毎回出演していて、しかも、常に上位入賞あるいは入選を続けているアンサンブル団体です。秋澤加寿子さんのご冥福を心よりお祈りいたします。

♪聴いてきました「第7回ぬくもりコンサート」♪

主催:音楽センターアコーディオン科三多摩教室 指揮/川口裕志氏

2014年12月7日(日)13:30開場/14:00開演 会場:くにたち市民芸術小ホール内スタジオ

初氷、寒い朝を迎えた。しかし、日中は初冬の風も優しく、背にあたる陽射しが温かい中、会場に向けて自転車を走らせた。

「第7回ぬくもりコンサート」このコンサートは隔年で実施されており、過去にも数回お邪魔している。

隔年だからもう10年をとうを超えている。歴史あるコンサートだ。



会場は矢川駅からほど近い「くにたち市民芸術小ホール」。長方形の一角に扇がたにステージがあり、客席は80席ほど。床が階段状に上がっており、ステージが良く見えてなかなか綺麗な会場である。

プログラムは1部・2部となっており、まず、教室生全員による合奏(写真上)から始まった。ソロが次々と続くなか、時折アンサンブルが入って、耳を楽しませてもらえた。私の好きな曲・弾いたことのある曲もたくさんあって自分もステージに上がり込んでいるような気分になることが出来た。演奏者のみなさんの鼓動も聞こえてくるようだった。

休憩を挟んで2部に入る。最初はみんなで歌おうから始まった。クリスマスも近いからということでしょう。サンタの帽子やくつ、洋服とアコ弾きさんたちの衣装もこっていた。(写真右)

歌の後は“友情出演”ということでフーガの会の皆様による演奏を3曲。演奏者6台の奏でる曲も重厚で中々でした。



次はゲスト演奏。音楽センターの山田さんによる独唱。初めに歌われた「広い河の岸边」は今、NHKの朝ドラでやっている「マッサン」。エリーさんが時折歌っている「スコットランド民謡」。いい歌だなあとよく聴いていたが終わりまで聞けたのは今回が初めてだった。やっぱりいい歌だ。

プログラムの最後は「歓喜の歌」これはこの教室の持ち曲・定番のようです。アンコールに添えて「もののけ姫～Do it」

司会をされた金曜教室のSさん。音楽センターの各教室ではお互いに聴きあったり、お手伝いをしあったりという良い雰囲気が広がっていますね。花束贈呈(写真右)も素敵でした。ほんと、心温まる演奏の数々。すてきな午後のひとときをありがとうございました。(文責:越村)



..... **ホワイトボード** (連絡はがきその他より)

♪タニグチ・サンデートーク『アコーディオンを語る集い』♪ * 谷口楽器のホームページより*

会 場 谷口楽器4階アコーディオン売り場 ◆住所 千代田区神田駿河台1-8 タニグチビル4階
第150回 2015年1月18日(日) 13:00~14:10 講師: 安西創氏「ミュゼット・アコ・デコボコ道中(10)」

~マヌーシュギター河野文彦さんと共に~

第151回 2015年2月22日(日) 13:00~14:30 講師: 牧田ゆき氏「唄の伴奏について」

第152回 2015年3月15日(日) 13:00~14:30 講師(株)トンボ楽器・会長 真野泰治氏

「アコーディオンと歌謡曲・演歌について」

問い合わせ 要予約 TEL03-3291-2711 Fax 03-3291-5188 ★各回定員20名(入場無料)

<http://www.taniguchi-gakki.jp/sunday.html>

.....
♪世界最小管絃楽団 たかこ・やぎりんバンド♪コンサート♪

日 時 2015年1月17日(土) ◎昼の部 開演14:00(終演 16:00) ◎夜の部 開演18:00(終演20:00)

会 場 東京オペラシティ3階 近江楽堂 ★京王新線「初台」駅下車すぐ

出 演 藤枝貴子(アルパ)／八木倫明(ケーナとナイと作詞)／小川真弓(歌)／勝田麻吏江(朗読)

予定曲 広い河の岸辺／思い出のサリーガーデン／ラ・ゴロンドリーナ(つばめ)／コンドルは飛んで行く／他

料 金 前売(自由席)一般:3,000円 学生:1,000円 当日売一般:3,500円 学生:1,500円

問い合わせ 地球音楽工房(やぎりんオフィス) ☎ 080-5379-4929 FAX 03-6759-3297

Eメール:yagirin88@gmail.com

.....
♪おつきゆきえ朗読会♪ * カフェ&ギャラリー「結」企画案内より*

日 時 2015年1月25日(日)

会 場 カフェ&ギャラリー「結」 ★小田急線「鶴川」駅下車②番バス「鶴川団地行」乗車、「国士舘大学前」
降車、進行方向に徒歩3分

◎午前の部 10:30~宮沢賢治 ☆料金:大人2,000円／子ども1,500円(中学生以下)

◎午後の部 14:00~おとなのための絵本 ☆料金:大人のみ1,800円(子どもは参加できません)

☆午前午後共通券3,500円

問い合わせ カフェ&ギャラリー「結」 ☎042-708-4984 ※席に限りがあります。前売り券をお求めください。

.....
♪あなたの街にうたごえ喫茶“ともしび”が！in神奈川♪ * うたごえ喫茶ともしび60周年記念*

日 時 2015年1月27日(火) 開場13:30 開演14:00(16:00終演予定)

会 場 ひまわりの郷(港南区民文化センター:上大岡)

★京浜急行線・横浜市営地下鉄「上大岡」駅すぐ「ゆめおおおか」中央棟4階

問い合わせ ともしび音楽企画 ☎03-6907-3801 FAX03-6907-3812 <http://www.tomoshibi.co.jp>

.....
♪リシャル・ガリアーノ七重奏団《エイト・シーズンズ》♪ * トリフォニークラブ・メンバーズコンサート*

日 時 2015年2月10日(火) 開演19:00

会 場 すみだトリフォニーホール・大ホール ★JR総武線「錦糸町」駅北口より徒歩5分

★東京メトロ半蔵門線「錦糸町」駅3番出口より徒歩5分 ★JR「東京」駅より徒歩9分

演奏者 リシャル・ガリアーノ(アコーディオン・バンドネオン)／ベルトラン・セヴェラ(ヴァイオリン)／サスキ
ア・レチェ(ヴァイオリン)／ジャン・ポール・ベラ(ヴィオラ)／エリック・ルヴィオノワ(チェロ)／シルヴァ
ン・ル・プロヴォスト(コントラバス)／エルヴェ・スラン(スペシャルゲスト・ピアノ)

演奏曲 ヴァヴァルディ／四季 ピアソラ／ブエノスアイレスの四季

問い合わせ トリフォニーホールチケットセンター ☎03-5608-1212 <http://www.triphony.com>